

2017年3月期決算の概要と 2018年3月期見通しについて

2017年5月10日
東レ株式会社

目次

I. 2017年3月期決算の概要

2017年3月期連結決算概要	(P3)
売上高・営業利益の推移	(P4)
総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE	(P5)
営業外収支	(P6)
特別損益	(P7)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P8)
セグメント別売上高・営業利益	(P9)
セグメント別業績	(P10-17)
営業利益増減要因分析	(P18)
主要子会社収益状況	(P19)
従業員数、関係会社の異動	(P20)

II. 2018年3月期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し	(P22)
セグメント別業績見通し	(P23)
設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移	(P24)

<参考> 中期経営課題 “プロジェクト AP-G 2016” の主な成果

“プロジェクト AP-G 2016” の主な成果	(P26-29)
--------------------------	----------

I . 2017年3月期決算の概要

2017年3月期連結決算概要

単位：億円

	16年3月期			17年3月期			通期 増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	10,286	10,759	21,044	9,570	10,695	20,265	-780 (-3.7%)
売上原価	8,112	8,514	16,626	7,437	8,527	15,965	-661 (-4.0%)
売上総利益	2,174	2,245	4,419	2,133	2,167	4,300	-119 (-2.7%)
(売上高総利益率)	21.1%	20.9%	21.0%	22.3%	20.3%	21.2%	+0.2 ポイント
販売費及び一般管理費	1,422	1,451	2,874	1,370	1,461	2,831	-43 (-1.5%)
(売上高販管費比率)	13.8%	13.5%	13.7%	14.3%	13.7%	14.0%	+0.3 ポイント
営業利益	751	794	1,545	763	706	1,469	-76 (-4.9%)
(売上高営業利益率)	7.3%	7.4%	7.3%	8.0%	6.6%	7.2%	-0.1 ポイント
営業外収支	4	▲47	▲43	▲2	▲30	▲32	+12
経常利益	755	747	1,502	761	677	1,437	-64 (-4.3%)
特別損益	▲28	▲95	▲124	▲13	▲35	▲47	+76
税前利益	727	651	1,378	748	642	1,390	+12 (+0.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	494	407	901	534	460	994	+93 (+10.3%)
1株当たり 当期純利益	30.93円	25.45円	56.38円	33.40円	28.77円	62.17円	
1株当たり配当金	6.00円	7.00円	13.00円	7.00円	7.00円	14.00円	

為替レート

<円/US\$>

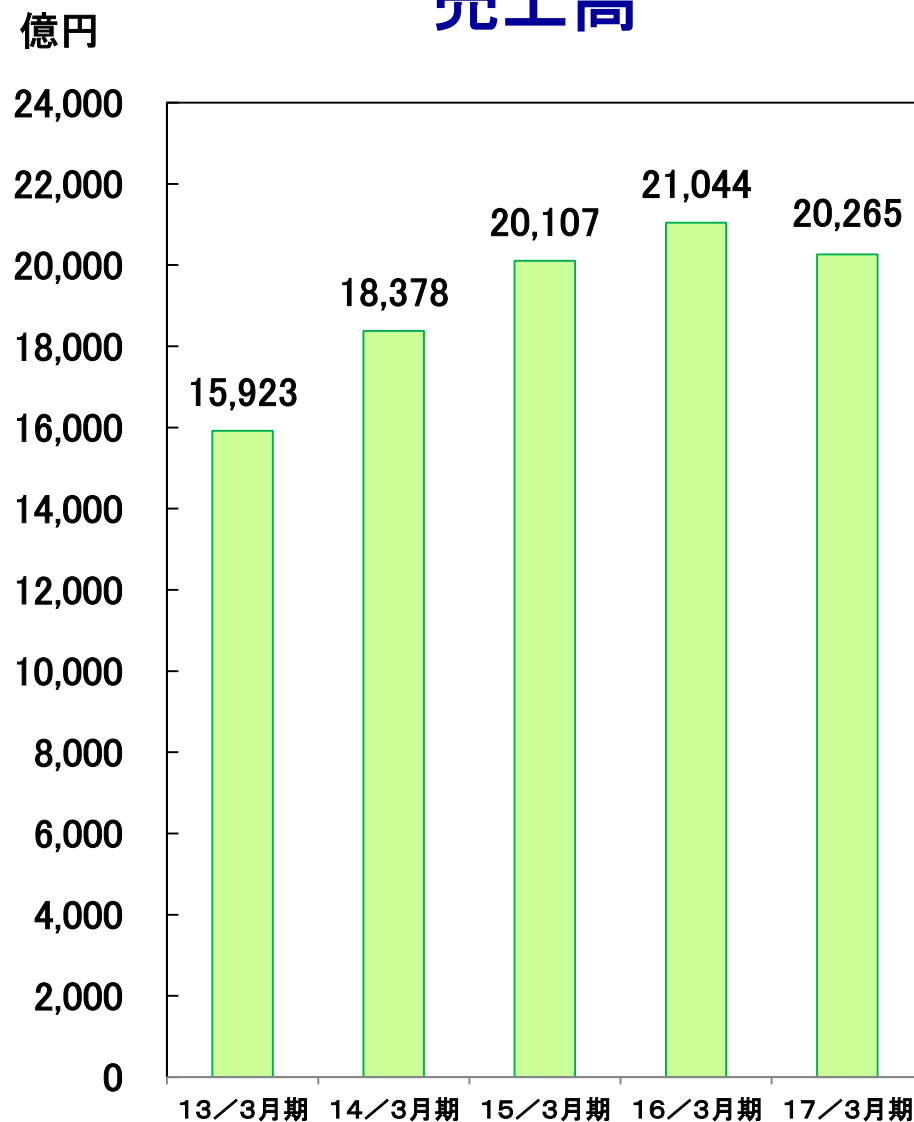
	(前期)	→	(当期)
期中平均	: 120.1	→	108.4
期末	: 112.7	→	112.2

<円/ユーロ>

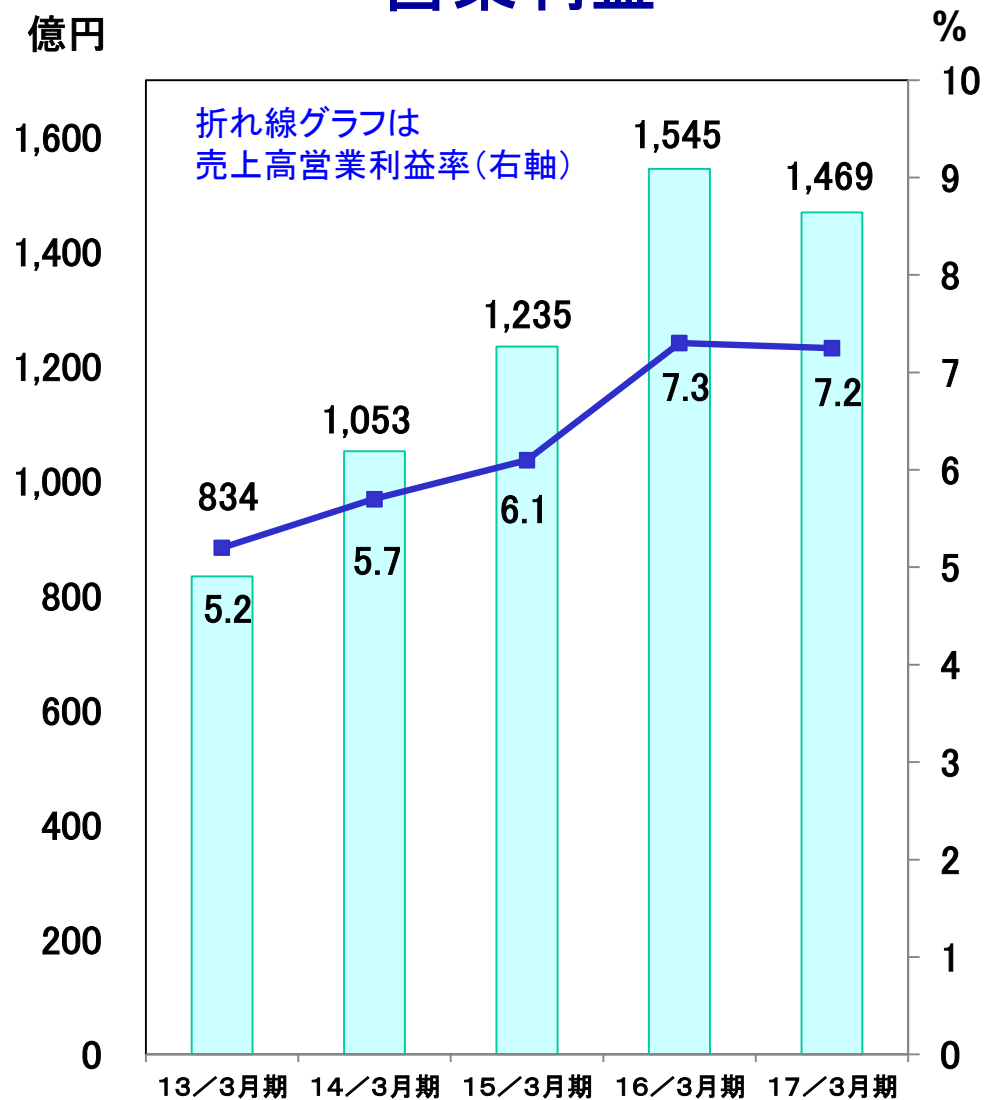
	(前期)	→	(当期)
期中平均	: 132.6	→	118.8
期末	: 127.7	→	119.8

売上高・営業利益の推移

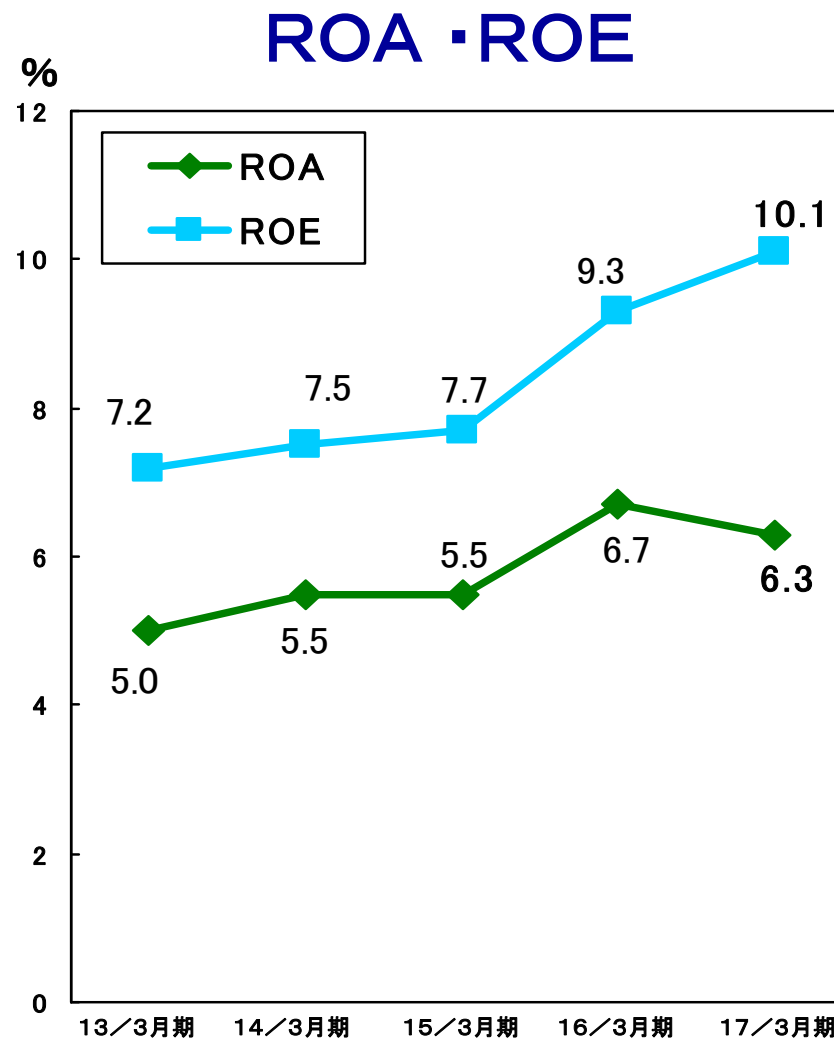
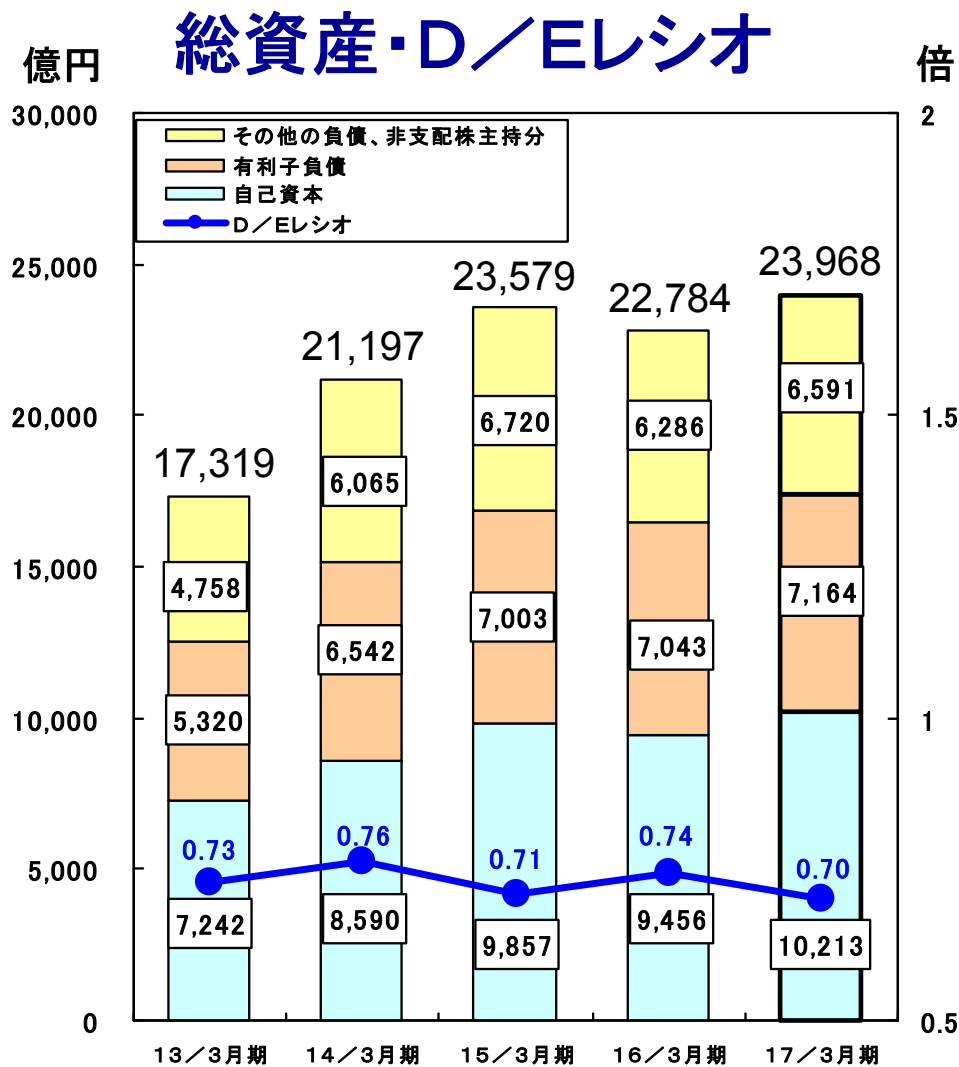
売上高



営業利益



総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE



ROA = 営業利益 / 総資産

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

営業外収支

	16年3月期	17年3月期	増減
営業外収益	149	181	+32
受取利息及び配当金	50	50	-0
持分法による投資利益	50	75	+25
雑収入	48	56	+8
営業外費用	▲ 192	▲ 213	-21
支払利息	▲ 54	▲ 47	+7
為替差損	▲ 24	-	+24
新規設備操業開始費用	▲ 12	▲ 30	-18
休止設備関連費用	▲ 42	▲ 61	-19
雑損失	▲ 61	▲ 75	-14
営業外収支	▲ 43	▲ 32	+12
金融収支	▲ 3	4	+7

億円

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	16年3月期	17年3月期	増減
特別利益	60	60	-0
有形固定資産売却益	10	10	+1
投資有価証券売却益	45	38	-7
退職給付信託返還益	-	8	+8
その他	5	3	-2
特別損失	▲ 183	▲ 107	+77
有形固定資産処分損	▲ 61	▲ 60	+1
減損損失	▲ 91	▲ 29	+61
投資有価証券評価損	▲ 22	▲ 8	+14
その他	▲ 10	▲ 9	+1
ネット特別損益	▲ 124	▲ 47	+76

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	16年3月末	17年3月末	増減
資産合計	22,784	23,968	+1,184
流動資産	10,096	10,667	+572
有形固定資産	8,306	8,814	+508
無形固定資産	872	773	-99
投資その他	3,511	3,713	+203

	16年3月末	17年3月末	増減
負債合計	12,535	12,966	+431
流動負債	5,713	6,700	+986
固定負債	6,821	6,266	-555
純資産合計	10,249	11,002	+753
自己資本	9,456	10,213	+757
自己資本比率	41.5%	42.6%	+1.1 ポイント

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	16年3月期	17年3月期	増減
営業活動	1,961	1,740	-222
投資活動	▲1,544	▲1,352	+192
フリー・キャッシュ・フロー	417	387	-30

セグメント別売上高・営業利益

		売上高			営業利益		
		16年 3月期	17年 3月期	増減 (%)	16年 3月期	17年 3月期	増減 (%)
繊維	上期	4,358	4,002	-357 (-8.2%)	350	346	-4 (-1.2%)
	下期	4,562	4,560	-3 (-0.1%)	339	322	-17 (-5.1%)
	通期	8,920	8,561	-359 (-4.0%)	689	668	-21 (-3.1%)
プラスチック・ケミカル	上期	2,572	2,367	-205 (-8.0%)	157	159	+3 (+1.7%)
	下期	2,640	2,624	-17 (-0.6%)	137	179	+41 (+30.2%)
	通期	5,212	4,991	-221 (-4.2%)	294	338	+44 (+15.0%)
情報通信材料・機器	上期	1,250	1,286	+36 (+2.9%)	120	159	+39 (+32.8%)
	下期	1,261	1,259	-2 (-0.2%)	142	146	+4 (+3.1%)
	通期	2,511	2,544	+34 (+1.3%)	262	305	+44 (+16.7%)
炭素繊維複合材料	上期	943	806	-138 (-14.6%)	186	160	-25 (-13.7%)
	下期	919	811	-108 (-11.8%)	175	79	-96 (-54.8%)
	通期	1,862	1,616	-246 (-13.2%)	361	240	-122 (-33.6%)
環境・エンジニアリング*	上期	826	786	-41 (-4.9%)	16	33	+17 (+102.9%)
	下期	1,007	1,076	+69 (+6.8%)	80	66	-13 (-16.8%)
	通期	1,833	1,861	+28 (+1.5%)	96	99	+3 (+3.3%)
ライフサイエンス	上期	264	252	-12 (-4.4%)	6	7	+1 (+18.4%)
	下期	295	289	-5 (-1.8%)	24	14	-10 (-42.2%)
	通期	558	542	-17 (-3.0%)	31	21	-9 (-30.0%)
その他	上期	72	72	-0 (-0.3%)	5	3	-2 (-42.9%)
	下期	75	78	+2 (+3.2%)	14	17	+2 (+17.2%)
	通期	147	149	+2 (+1.5%)	20	20	+0 (+1.4%)
調整額	上期				▲ 89	▲ 105	-16
	下期				▲ 118	▲ 117	+1
	通期				▲ 207	▲ 222	-15
連結	上期	10,286	9,570	-716 (-7.0%)	751	763	+11 (+1.5%)
	下期	10,759	10,695	-64 (-0.6%)	794	706	-87 (-11.0%)
	通期	21,044	20,265	-780 (-3.7%)	1,545	1,469	-76 (-4.9%)

億円

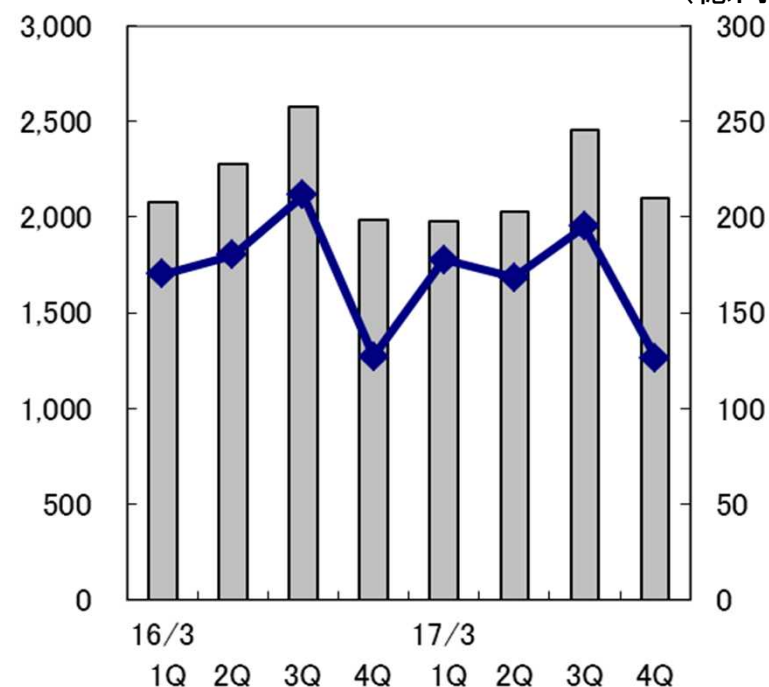
セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		16年3月期	17年3月期	増減	
売上高	東レ	1,918	1,835	-83	(-4.3%)
	国内	4,668	4,458	-211	(-4.5%)
	海外	5,326	5,048	-278	(-5.2%)
	修正	▲ 2,993	▲ 2,780	+213	
	計	8,920	8,561	-359	(-4.0%)
営業利益	東レ	175	196	+21	(+12.3%)
	国内	133	118	-15	(-11.1%)
	海外	410	375	-35	(-8.6%)
	修正	▲ 29	▲ 22	+7	
	計	689	668	-21	(-3.1%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



国内： 衣料用途・産業用途とも需要が引き続き低調に推移する中で、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善を進めることで採算の改善に注力。

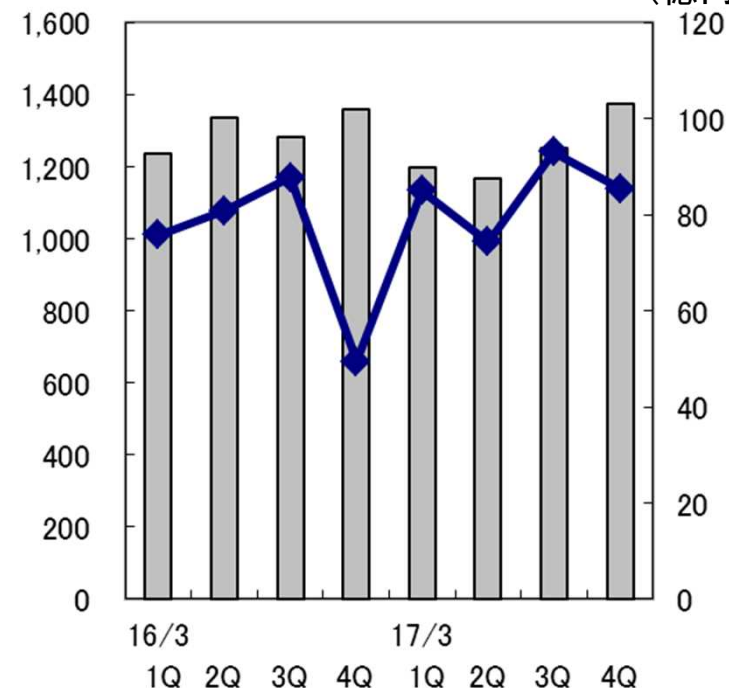
海外： 衣料用途を中心に、東南アジアなど一部子会社の業績が欧州や中国などにおける最終需要低迷の影響を受けた。一方、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。

セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		16年3月期	17年3月期	増減	
売上高	東レ	1,221	1,207	-14	(-1.1%)
	国内	3,887	3,682	-205	(-5.3%)
	海外	3,467	3,441	-27	(-0.8%)
	修正	▲ 3,362	▲ 3,338	+24	
	計	5,212	4,991	-221	(-4.2%)
営業利益	東レ	47	56	+9	(+18.6%)
	国内	73	84	+10	(+14.1%)
	海外	173	199	+26	(+14.8%)
	修正	0	▲ 0	-1	
	計	294	338	+44	(+15.0%)

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

樹脂事業 : 自動車関連用途向けの出荷が国内外とも概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂やPPS樹脂などの拡販を推進。

フィルム事業 : 海外では欧米の一部用途の需要が低調だったが、アジアなどで高付加価値品の拡販を推進。国内では包装用途向けが堅調。

また、多くの製品が国内外で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。

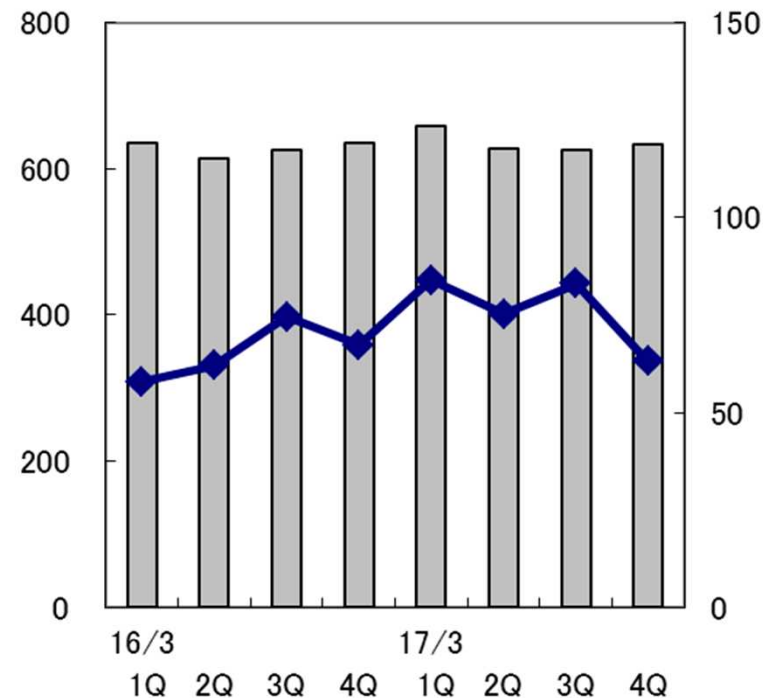
セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		16年3月期	17年3月期	増減	
売上高	東レ	870	926	+56	(+6.4%)
	国内	1,082	1,128	+46	(+4.3%)
	海外	1,003	930	-74	(-7.3%)
	修正	▲ 444	▲ 439	+6	
	計	2,511	2,544	+34	(+1.3%)
営業利益	東レ	60	117	+57	(+93.8%)
	国内	109	104	-5	(-4.2%)
	海外	126	115	-12	(-9.2%)
	修正	▲ 34	▲ 31	+3	
	計	262	305	+44	(+16.7%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



フラットパネルディスプレイ向けでは、スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、有機EL用途向けの出荷が拡大するなど、堅調に推移。リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムは、需要の伸長を背景に、出荷が拡大。多くの用途で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	16年3月期		17年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	699	28%	727	29%	+4%
電子部品・半導体・回路材料	1,194	48%	1,233	48%	+3%
記録材料	304	12%	285	11%	-6%
機器他	314	13%	300	12%	-5%
合計	2,511		2,544		+1%

ディスプレイ材料 : スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、主要顧客の稼働好調に伴い、有機EL向け等が堅調に推移。

電子部品・半導体・回路材料 : リチウムイオン二次電池向けのバッテリーセパレータフィルムや韓国子会社の高機能回路材料が堅調に推移。

記録材料 : データバックアップ用磁気テープ向けフィルムは堅調だったが、熱転写リボン向けフィルムは低調に推移。

機器他 : IT関連機器の販売が低調に推移。

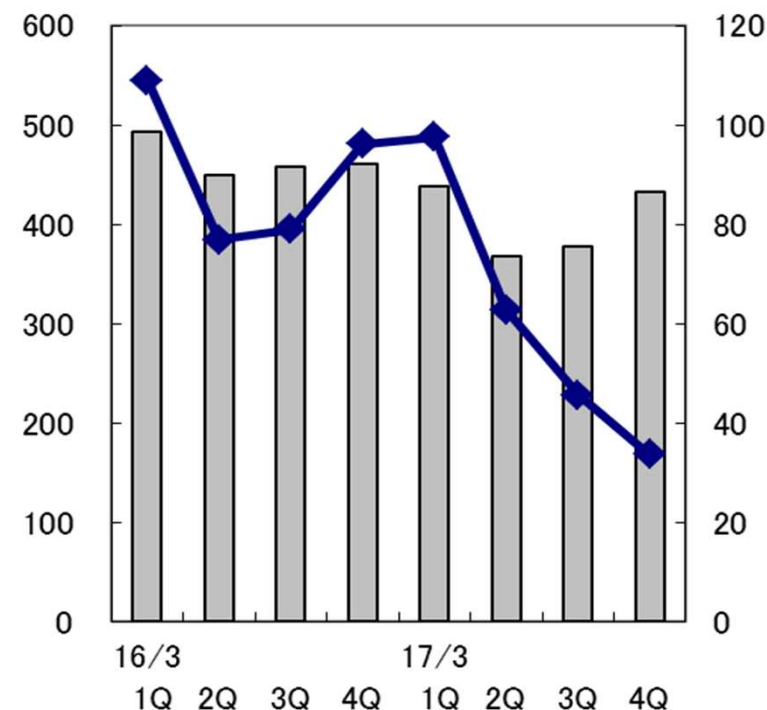
セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		16年3月期	17年3月期	増減	
売上高	東レ	1,070	966	-104	(-9.7%)
	国内	809	630	-180	(-22.2%)
	海外	1,637	1,396	-241	(-14.7%)
	修正	▲ 1,653	▲ 1,375	+279	
	計	1,862	1,616	-246	(-13.2%)
営業利益	東レ	220	125	-95	(-43.0%)
	国内	12	12	-0	(-0.6%)
	海外	181	156	-25	(-14.0%)
	修正	▲ 52	▲ 54	-1	
	計	361	240	-122	(-33.6%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



航空機の最終需要は堅調に推移したが、サプライチェーンにおける在庫調整などを反映して、炭素繊維中間加工品(プリプレグ)の需要は弱含みで推移。圧縮天然ガスタンク向けでは、原油価格下落の影響を受けて、需要が低調に推移。一方、風力発電翼用途は、需要の拡大を背景に出荷を拡大。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	16年3月期		17年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	944	51%	748	46%	-21%
スポーツ	157	8%	133	8%	-15%
一般産業	760	41%	735	45%	-3%
合計	1,862		1,616		-13%

航空宇宙： サプライチェーンにおける在庫調整などを反映して、炭素繊維中間加工品（プリプレグ）の需要は弱含みで推移。

スポーツ： 海外で釣竿や自転車用途向けの需要が低調に推移。

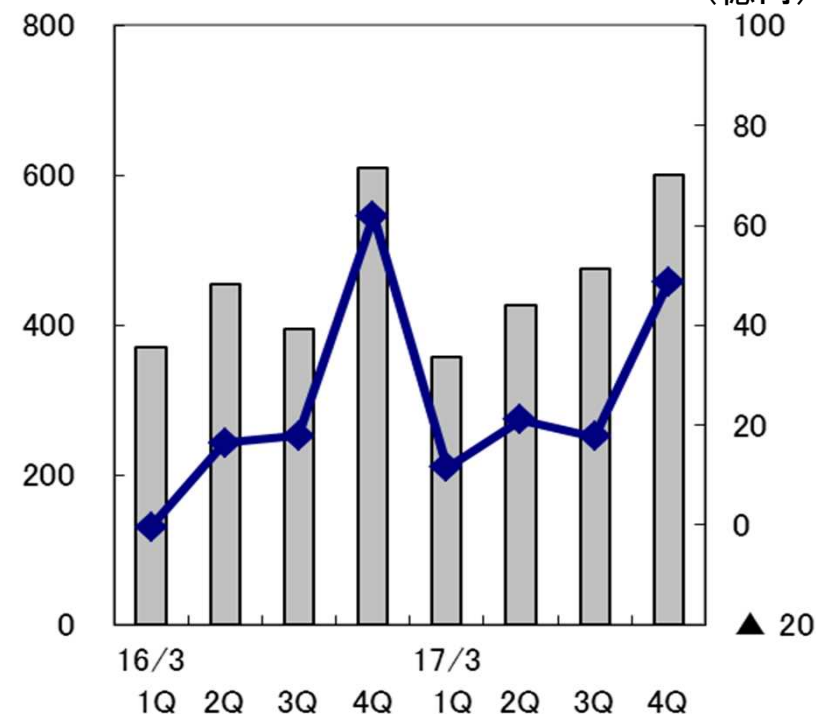
一般産業： 風力発電翼用途向け出荷は拡大したが、圧縮天然ガスタンク用途の需要は低調に推移。

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位:億円

		16年3月期	17年3月期	増減	
売上高	東レ	215	225	+9	(+4.3%)
	国内	2,220	2,313	+93	(+4.2%)
	海外	269	264	-5	(-1.8%)
	修正	▲ 871	▲ 941	-69	
	計	1,833	1,861	+28	(+1.5%)
営業利益	東レ	15	11	-4	(-24.9%)
	国内	54	66	+12	(+22.0%)
	海外	33	26	-8	(-23.0%)
	修正	▲ 7	▲ 4	+3	
	計	96	99	+3	(+3.3%)

売上高
＜棒グラフ＞



水処理事業 : 逆浸透膜などの拡販を進めたが、日本からの輸出は円高進行の影響を受けた。

国内 : エンジニアリング子会社の医薬関連プラント工事やリチウムイオン二次電池関連機器などが堅調に推移。

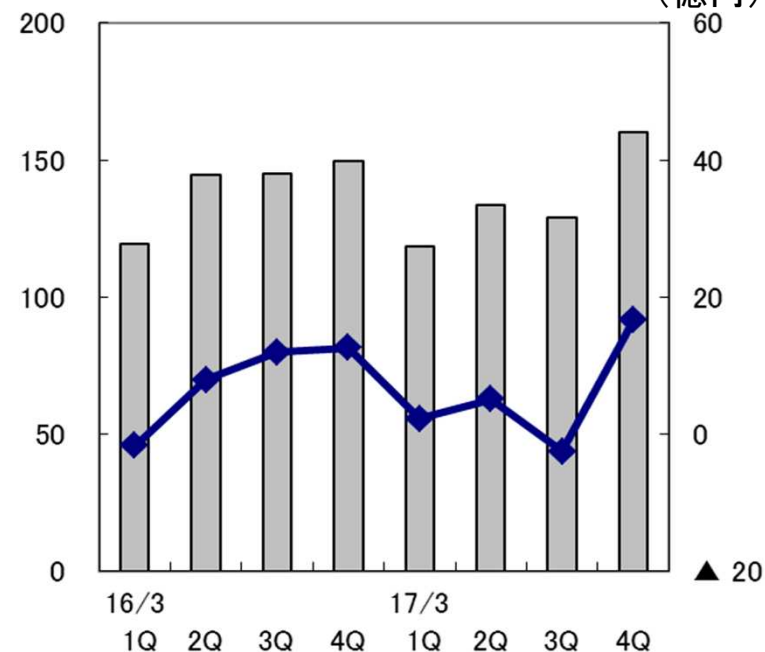
セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		16年3月期	17年3月期	増減	
売上高	東レ	342	312	-30	(-8.8%)
	国内	404	413	+9	(+2.2%)
	海外	117	122	+5	(+4.2%)
	修正	▲ 305	▲ 305	-1	
	計	558	542	-17	(-3.0%)
営業利益	東レ	31	16	-15	(-48.0%)
	国内	9	5	-3	(-38.1%)
	海外	▲ 0	▲ 1	-1	(-)
	修正	▲ 8	1	+9	
	計	31	21	-9	(-30.0%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

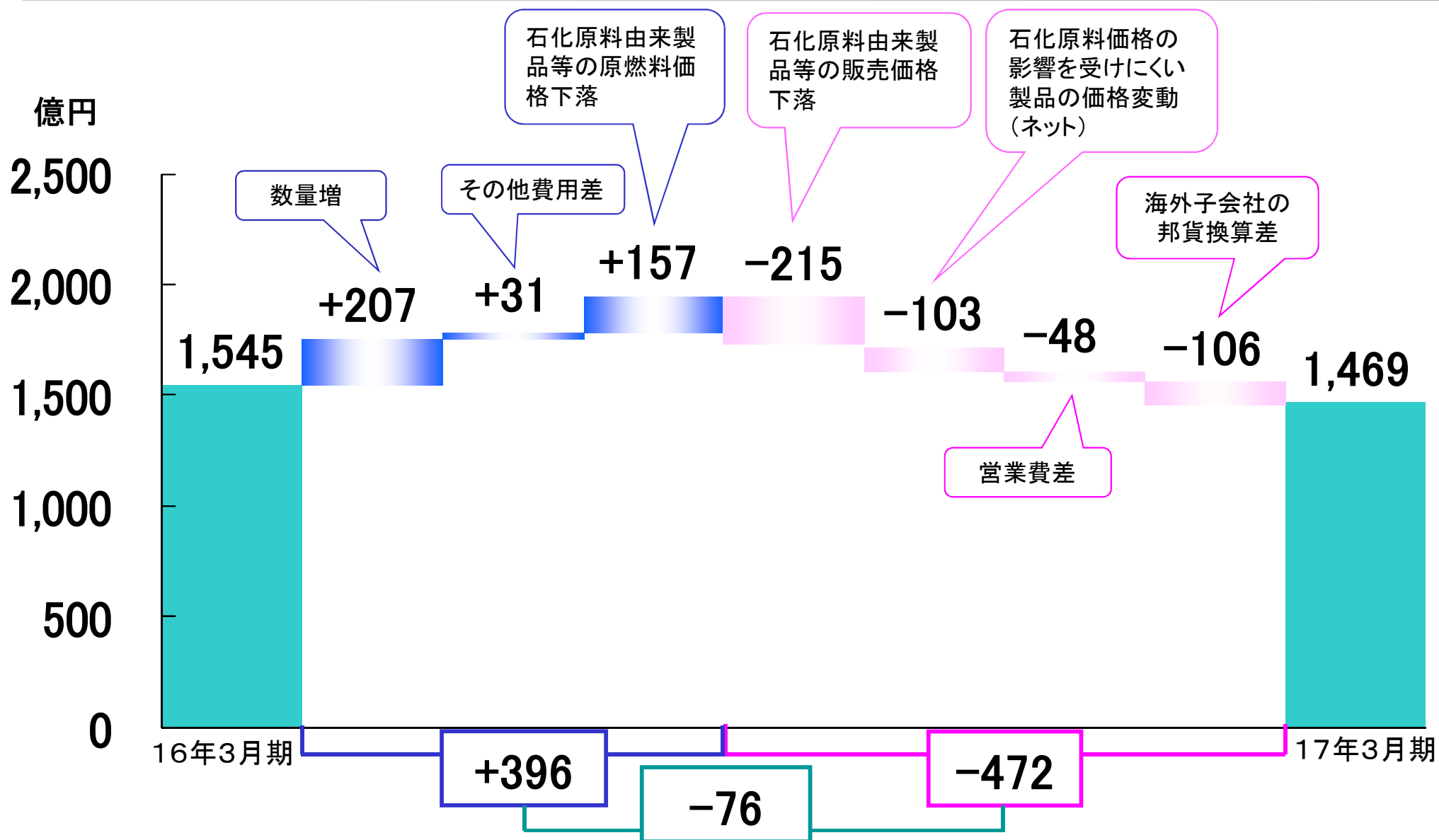


医薬事業 : 経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*が、2015年に取得した効能追加承認を背景に販売数量は堅調に推移したが、2016年4月の薬価改定の影響を受けた。天然型インターフェロンβ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調に推移。

医療機器事業 : ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況

億円

	売上高			営業利益		
	16年3月期 年間実績	17年3月期 年間実績	増減	16年3月期 年間実績	17年3月期 年間実績	増減
東レインターナショナル	5,954	5,654	-300	126	106	-20
東レエンジニアリング	907	1,025	+118	32	47	+15
東レ建設	558	453	-105	23	11	-12
東レフィルム加工	418	416	-1	15	22	+7
東レ・メディカル	404	413	+9	9	5	-3
TAK(韓国)	1,129	1,105	-24	111	117	+6
TPM(マレーシア)	646	629	-18	49	51	+1

在東南アジア・子会社 *1	繊維	1,241	1,167	-74	86	66	-20
	プラスチック・ケミカル	789	771	-18	63	71	+8
	その他	81	78	-3	10	8	-1
	計	2,111	2,017	-95	159	146	-13

在中国・子会社 *2	繊維	2,673	2,450	-223	212	209	-3
	プラスチック・ケミカル	773	795	+21	25	35	+10
	その他	267	333	+66	19	17	-2
	計	3,713	3,578	-136	256	261	+5

在外・フィルム子会社 *3	プラスチック・ケミカル	1,029	952	-77	68	77	+9
	情報通信材料・機器	591	576	-15	67	66	-1
	計	1,620	1,528	-92	135	143	+8

*1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM、TCTI

*2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、TIHK、THK-G、TPCH-G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC、TFN

*3: TAK、TCK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK、TFN

* 上記アルファベットは各社の略称、金額は単純合計

従業員数、関係会社の異動

	従業員数		人
	16年3月末	17年3月末	
東レ単体	7,223	7,220	-3
国内連結子会社	10,520	10,657	+137
海外連結子会社	28,096	28,371	+275
合計	45,839	46,248	+409

		関係会社の異動			社
		16年3月末	17年3月末	増減	
連結子会社 (a)	国内	60	60	±0	
	海外	98	98	±0	
	計	158	158	±0	
持分法適用子会社 (b)	国内	26	26	±0	
	海外	35	35	±0	
	計	61	61	±0	
子会社計 (a) + (b)	国内	86	86	±0	
	海外	133	133	±0	
	計	219	219	±0	
持分法適用関連会社 (c)	国内	14	13	-1	
	海外	21	23	+2	
	計	35	36	+1	
連結対象会社 合計 (a) + (b) + (c)	国内	100	99	-1	
	海外	154	156	+2	
	計	254	255	+1	

Ⅱ. 2018年3月期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し

		17年3月期 実績	18年3月期 見通し	対前年同期比 増減		億円
売上高	上期	9,570	10,500	+930	(+9.7%)	
	下期	10,695	11,700	+1,005	(+9.4%)	
	通期	20,265	22,200	+1,935	(+9.6%)	
営業利益	上期	763	780	+17	(+2.3%)	
	下期	706	870	+164	(+23.2%)	
	通期	1,469	1,650	+181	(+12.3%)	
経常利益	上期	761	770	+9	(+1.2%)	
	下期	677	850	+173	(+25.6%)	
	通期	1,437	1,620	+183	(+12.7%)	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	534	470	-64	(-12.0%)	
	下期	460	530	+70	(+15.2%)	
	通期	994	1,000	+6	(+0.6%)	
1株当たり 当期純利益	上期	33.40円	29.39円			
	下期	28.77円	33.14円			
	通期	62.17円	62.53円			
1株当たり 配当金	上期	7.00円	7.00円			
	下期	7.00円	7.00円			
	通期	14.00円	14.00円			

為替レート的前提：105円/US\$

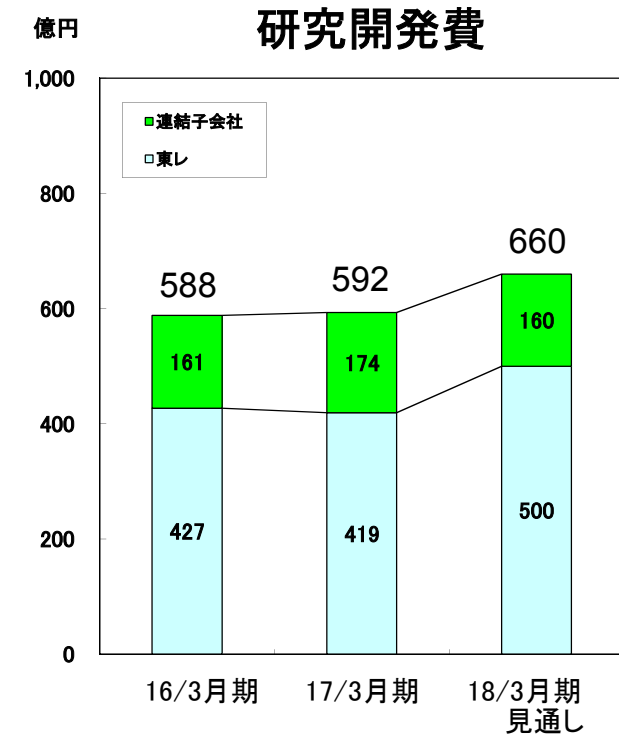
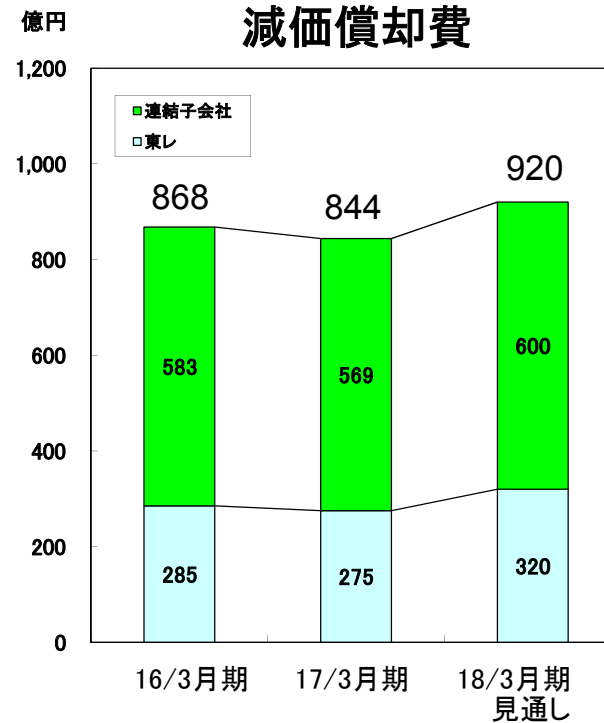
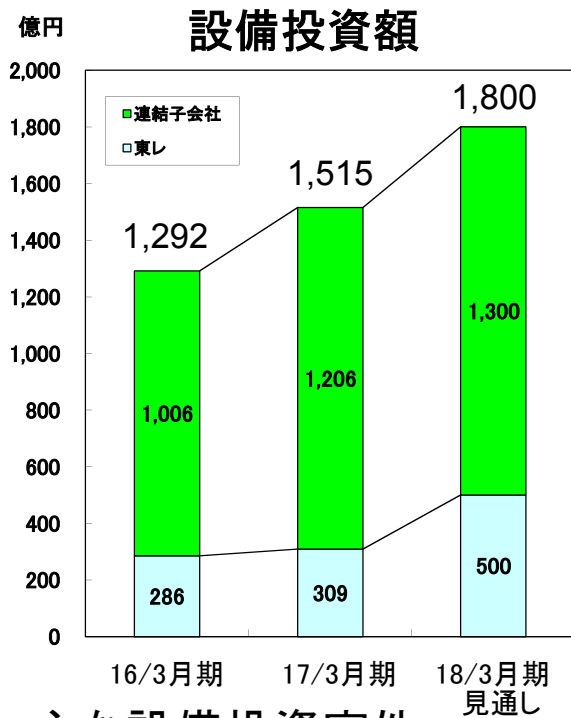
セグメント別業績見通し (売上高／営業利益)

億円

		17年3月期 実績			18年3月期 見通し			対前年同期比 増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	4,002	4,560	8,561	4,250	5,000	9,250	+248	+440	+689
	機能化成品	3,462	3,784	7,246	3,950	4,050	8,000	+488	+266	+754
	炭素繊維複合材料	806	811	1,616	850	950	1,800	+44	+139	+184
	環境・エンジニアリング	964	1,161	2,125	1,100	1,250	2,350	+136	+89	+225
	ライフサイエンス	252	289	542	270	330	600	+18	+41	+59
	その他	84	90	174	80	120	200	-4	+30	+26
	連結	9,570	10,695	20,265	10,500	11,700	22,200	+930	+1,005	+1,935
営業利益	繊維	346	322	668	370	390	760	+24	+68	+92
	機能化成品	296	322	618	360	380	740	+64	+58	+122
	炭素繊維複合材料	160	79	240	110	130	240	-50	+51	+0
	環境・エンジニアリング	53	65	117	45	85	130	-8	+20	+13
	ライフサイエンス	7	14	21	5	25	30	-2	+11	+9
	その他	5	21	26	10	15	25	+5	-6	-1
	調整額	▲ 105	▲ 117	▲ 221	▲ 120	▲ 155	▲ 275	-15	-39	-54
連結	763	706	1,469	780	870	1,650	+17	+164	+181	

2018年3月期より、これまでの「繊維」、「プラスチック・ケミカル」、「情報通信材料・機器」、「炭素繊維複合材料」、「環境・エンジニアリング」、「ライフサイエンス」の6つの報告セグメントから「繊維」、「機能化成品」、「炭素繊維複合材料」、「環境・エンジニアリング」、「ライフサイエンス」の5つの報告セグメント区分による開示に変更。2017年3月期実績も新セグメントに組み替えて表示。

設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



主な設備投資案件

【2017年3月期】 Toray Carbon Fibers America, Inc. : 炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫設備
 Toray Battery Separator Film Korea Limited : ポリエチレンフィルム“セティーラ®”設備
 Toray Advanced Materials Korea Inc. : PPS樹脂“トレリナ®”設備

【2018年3月期】 Toray Battery Separator Film Korea Limited : ポリエチレンフィルム“セティーラ®”設備
 Toray Advanced Textile Mexico, S.A. de C.V. : 自動車エアバッグ用ナイロン繊維・基布設備
 Zoltek Companies, Inc. : ラージトウ“ZOLTEK™”炭素繊維設備
 Alcantara S.p.A. : “Alcantara®”設備

＜参考＞

中期経営課題 “プロジェクト AP-G 2016” の主な成果

“プロジェクト AP-G 2016”の主な成果

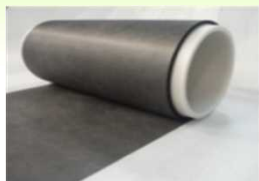
グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト

2016年度の主な取り組み

<燃料電池関連素材の拡大>

■ホンダの燃料電池車「CLARITY FUEL CELL」に炭素繊維材料を供給(16年4月)

- ・燃料電池スタックの電極機材用カーボンペーパー及び高圧水素貯蔵用タンク用高強度炭素繊維が採用。



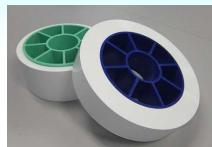
■日本で燃料電池電極素材の大型生産設備新設決定(17年2月)

- ・18年5月の完成を目指す。

<バッテリーセパレータフィルム(BSF)事業の拡大>

■韓国での生産能力増強(16年12月)

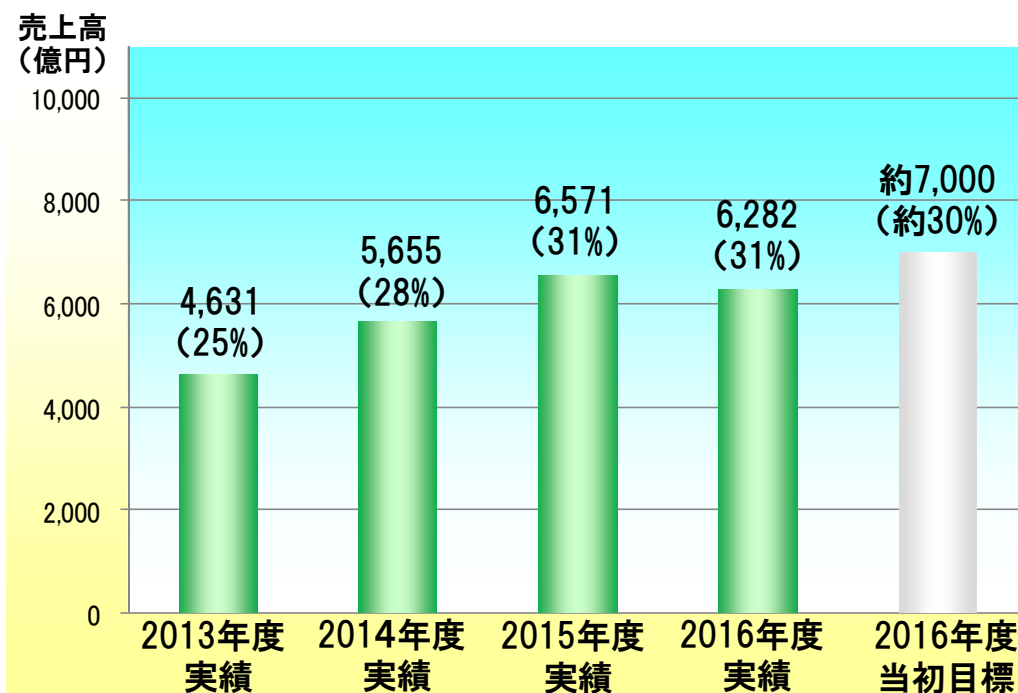
- ・東レバッテリーセパレータフィルム韓国において、130%の能力増強、稼働開始。



■東レバッテリーセパレータフィルム(株)を17年4月に吸収合併決定(16年12月)

グリーンイノベーション事業の売上高推移

()内は、全社売上高に占める割合



“プロジェクト AP-G 2016”の主な成果

ライフイノベーション事業拡大(LI)プロジェクト

2016年度の主な取り組み

<先端材料の拡大>

■生体信号検知機能素材“hitoe[®]”の医療用途展開開始(16年8月)

- ・一般医療機器として、医薬品医療機器総合機構へ届出、登録を完了。



■インドネシアで衛生材料用PPスパンボンド増設(16年9月)

- ・16年9月に衛生材料用PPスパンボンドの生産能力が年産37千トンへ増加。

■日本国内でのスパンボンド開発設備導入決定(17年3月)

- ・滋賀事業場の敷地内に新規開発設備を設置、17年11月から稼働開始予定。

<医薬・医療機器の拡大>

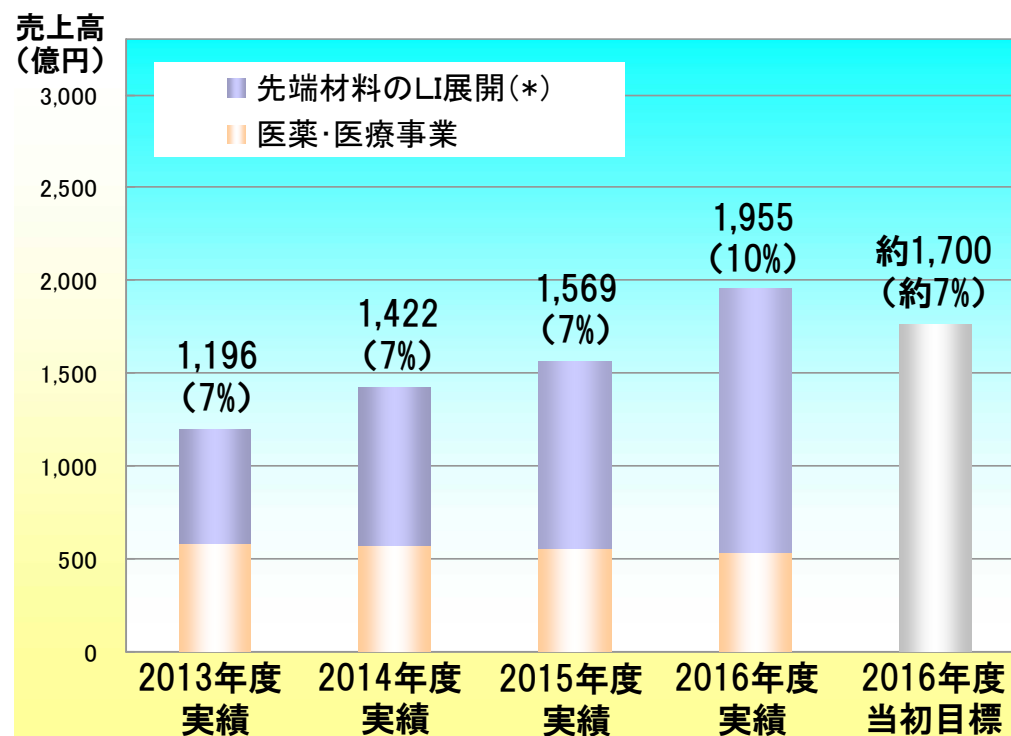
■がん治療薬「TRK-950」の臨床試験開始の承認を取得(17年2月)

■ROR γ t阻害剤に関するライセンス契約締結(17年3月)

- ・マルホ株式会社とROR γ t阻害剤につき、独占的な開発・製造・販売権に関するライセンス契約を締結。

ライフイノベーション事業の売上高推移

()内は、全社売上高に占める割合



(*)東レグループ概算

“プロジェクト AP-G 2016”の主な成果

アジア・アメリカ・新興国事業拡大(AE-II)プロジェクト

2016年度の主な取り組み

<中国>

- 中国で水処理合弁会社の開所式を開催(16年10月)
 - ・江蘇省塩城市にToray WBD Membrane Technology (JS) Co., Ltd (TWMT)を設立。

<米州>

- メキシコのラージトウ炭素繊維の生産設備増強決定(17年2月)
 - ・Zoltekのメキシコ工場において、年産5千トンを増強。
 - ・17年末稼働開始予定。
- メキシコで自動車エアバッグ用原糸・基布一貫工場新設決定(16年7月)
 - ・年産10千トンのエアバッグ用ナイロン繊維生産設備とエアバッグ基布生産設備を導入予定。
 - ・18年度稼働開始予定。

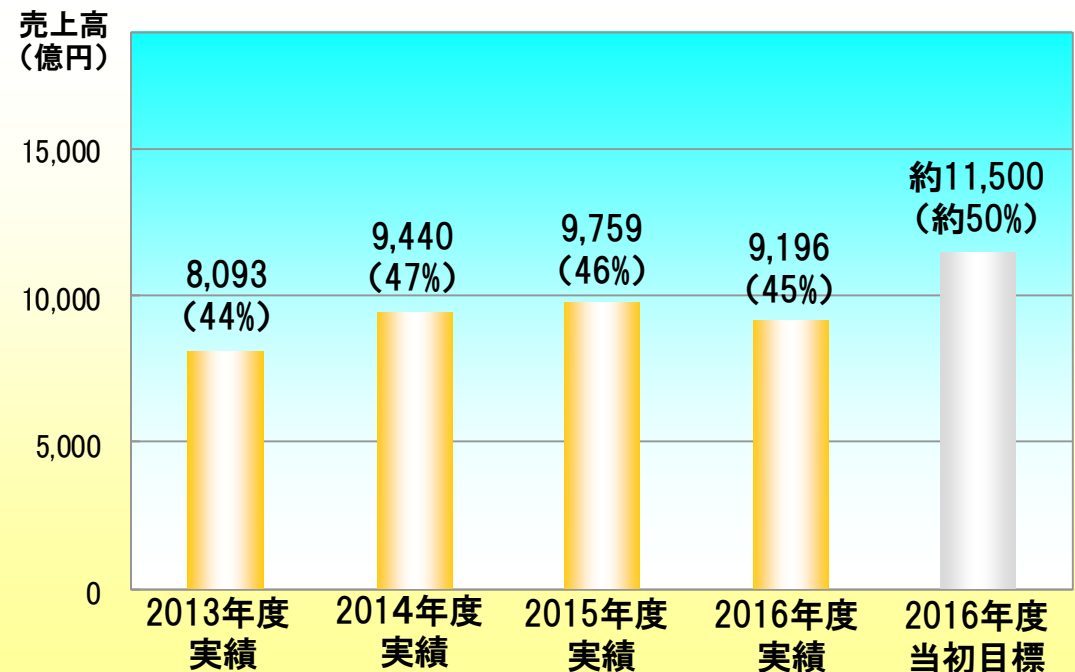


<新興国・その他>

- 韓国で高機能ポリプロピレン長繊維不織布生産能力増強を決定(16年6月)
 - ・年産約18千トンを増強。
 - ・18年度稼働開始予定。

アジア・アメリカ・新興国事業の売上高推移

()内は、全社売上高に占める割合



“プロジェクト AP-G 2016”の主な成果

トータルコスト競争力(TC-Ⅲ)プロジェクト

2014～2016年度に合計1,949億円のコスト削減を達成

16年度実績

従来
TC-Ⅱの
継続

- ◆ 比例費削減活動の継続
(前年比3%以上、3年間で10%以上)
- ◆ P値管理による固定費管理の徹底
(毎年P値(*)0.96以下)
- ◆ 東レグループ全員参加による活動推進

比例費:
295億円削減
(削減率3.4%)

固定費:
201億円削減
(P値=1.02)

新規活動

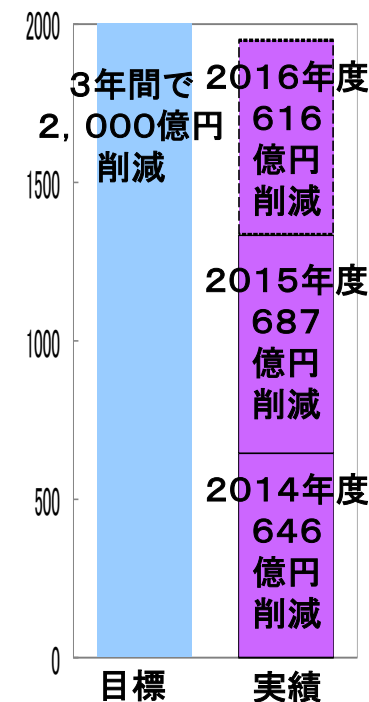
生産プロセス
革新

- ◆ 新たな視点・アプローチから、大幅コストダウンに向けた革新的生産プロセスの構築
- ◆ 研究・技術・生産・工務が連携し、組織横断的に全社の総合力を活かして推進

生産プロセス革新と
営業トータルコストダウン
の効果
合計:120億円

営業トータル
コストダウン

- ◆ 商社・代理店・外注等で発生する費用を含めた営業トータルコスト、物流・デリバリー機能などを分析・把握し、競争力の高いサプライチェーンを構築



* : P(Performance)値 = 固定費増加率 / 限界利益増加率 1.0以下もしくは予算との対比で事業毎に管理

本資料中の2018年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry